



マスク大国に生き、生海苔を消化できる日本人の特徴？！

立春ですね。12月には本校でインフルエンザが流行り、予防のためのマスク着用を励行したのは記憶に新しいところです。また、最近ではコロナウィルスの脅威が叫ばれており、中国や国内では感染予防のためにマスクが不足しているようです。花粉症の人にももうすぐつらい季節到来です。また、様々な窓口の「マスクなし対応」議論は影をひそめてしまったようです。

この「マスク」ですが、私たち日本人は、病気の時以外にも感染症予防や花粉予防など、一年中マスクをしている人が少なくないと言っても過言ではなさそうです。例えば、合唱コンクールに行くと、喉の乾燥を防ぐためか全員がマスクをしている姿は異様な光景です。まさに「マスク大国」！

この「マスク」が広まったのは、1918～1920年にかけて流行した「スペインかぜ」がきっかけと言われます。「スペインかぜ」とは全世界で感染者約6億人、2000万～4000万人もの死者が出たとされるインフルエンザの世界的なパンデミックで、日本でも当時の人口の半分にあたる約2300万人が感染し猛威をふるったそうです。

さて、現状はさておきこのマスク着用は、海外の人から見ると少し異様に映るようです。海外では日常的にマスクを使用する習慣がないそうです。「マスク着用」＝「病人」というイメージで、セルフケアとしてのマスク着用が紹介されることがないと言います。つまり、予防効果の根拠がないという理由によるもので、マスクは感染者がほかの人につすのを防ぐために使用するものであって、健康な人はマスクをしないという考えからです。ですから、多くの国ではマスクは医療用あるいは清掃用に限られ、公共の場所で用いると覆面に近いイメージで見られてかなり怪しまれると聞いたことがあります。

もちろんマスクを日常的に使用する国や地域もあります。大気汚染や粉塵による被害を防ぐためであったり、乾燥地域や寒冷地で防乾・防寒マスクとして着用したりするケースです。

最近ではファッション化しているようにも思えるマスクですが、日本での使用の仕方が当たり前と思ってしまうといけなようです。ただ、安心のために手放せない時期・季節であることは確かです。

話は変わりますが、「生海苔(なまノリ)を消化できるのは日本人だけ」ということをご存じでしたか？2010年にフランスの研究チームが発表したそうです。市川市では行徳で採れる海苔が有名で、本校の給食でも24日に「生海苔の佃煮」が登場しました。2月にも予定していますが、海が荒れて漁に出られないと提供できないというので心配です。

この生海苔は、非常に固い外壁を持っているので、通常の消化液では分解できないのだそうです。研究によると、日本人の腸内にだけこの細胞壁を分解する酵素を生み出す微生物が存在することがわかったと言います。他国の人には、腸内にその微生物がいないので消化できないということになります。

日本人は大昔から海苔を食べていました。701年に制定された「大宝律令」の中にも、朝廷への税の一種として海苔の記述があったほどです。そんな昔から食べ続けていたためか、海苔を分解する海洋性のバクテリアを体内に取り込み、消化できるようになったというわけです。ただ、海苔を加熱してしまえば、細胞壁が壊れて誰でも消化できるのだそうです。だから焼き海苔は大丈夫！

今回は、マスクと海苔から「日本人」を覗いてみました。



やわらかアタマで楽しもう

ウィキペディアを
参考にしました



3代目三遊亭遊朝の作で、「ミニスカート」とかけて、「結婚式のスピーチ」と解く。その心は「短いほど喜ばれる」というものを耳にしたことのある方も多と思います。これは、なぞかけと呼ばれるもので、江戸時代には既に存在していたようです。なぞかけの形式は「○○とかけて××と解く。その心は□□」というもの。○○と××という一見なんの関係もなさそうなものを提示し、共通点として□□を示すのです。この○○という題を与えて、即興で答えさせることが多く、落語家などが大喜利などで余興として行っているのを見る機会も多々あります。また、上手な言い回しを考える言葉遊びという性質のために、ラジオ放送の企画として、聴取者の投稿を募ることもあります。この共通点である□□は、多くは駄洒落であったり同音異義語であったりするわけです。なぞかけは、「複式謎」あるいは「三段謎」と呼ばれることもあり、高い教養とユーモアのセンスが求められます。

では、問題です。その心は？に当たる□□の部分を考えてみてください。難しいかも…？

- (1)「**おにぎり**」とかけて「**図画工作**」と解きます。その心は？
- (2)「**浦島太郎の玉手箱**」とかけて「**大晦日**」と解きます。その心は？
- (3)「**スパイ**」とかけて「**漫画家**」と解きます。その心は？

わかったときに、「なるほどっ！」と唸ってしまいそうになる面白さもあります。こうした作品を考えるのは結構大変ですが、ぜひ親子で考えて、「いいかな?！」と思ったら、校長室前のポストに投函してください。この紙面あるいはホームページ上で紹介することを考えています。2月中、首を長〜くして待っています。

お題①は、「百人一首」とかけて…。お題②はフリー(自由)とします。さあ頭をやわらかくして Let's Try!

◆ 来年度の学級編制についてお知らせします ◆

※1年生が進級する際、一年を経た今の実態や友達関係等を考慮して、来年度からクラス替えを行います。この件に関しては、第一学年保護者の方には、年度当初にお話してあります。

新一年生	クラス替えをして2学級編制
新二年生	クラス替えをして4学級編制
新三年生	クラス替えをして4学級編制
新四年生	クラス替えをして3学級編制
新五年生	クラス替えをして4学級編制
新六年生	クラス替えなし

なのはな クラス替えをして2学級編制

◆ 百人一首大会の結果を発表します ◆

第1学年	①西野	②大坪	③安類
第2学年	①上笹	②田上	③小川
第3学年	①杉原	②市丸	③矢形
第4学年	①末永	①田代	①三浦
第5学年	①中川朋	②中川愛	③村井
第6学年	①白坂	②岩井	②染谷
なのはな	①綱川	②押尾	③奥田

※君・さん省略
※丸数字は順位

◆ 学年別◆

①「**トナリナカレノミヅ**」**オウチノ** (3)

②「**トナリナカレノミヅ**」**オウチノ** (2)

③「**トナリナカレノミヅ**」**オウチノ** (1)

※**ミヅ**